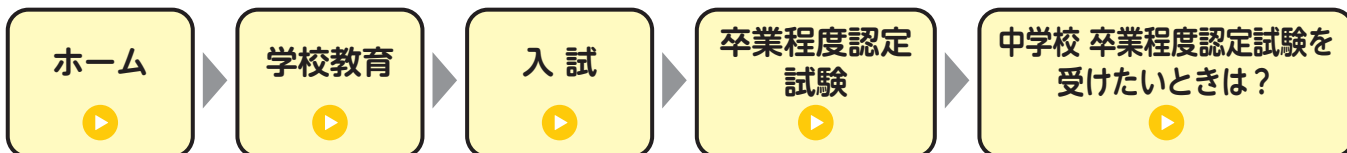


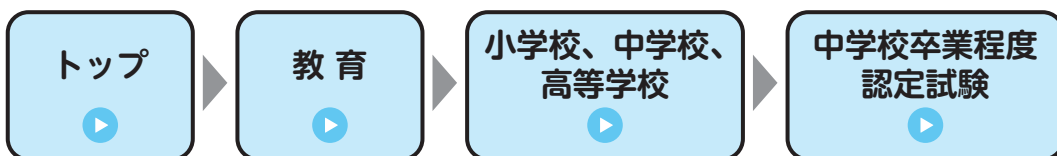
令和4年度就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定試験について

この件について、希望される方は、以下のホームページから情報を収集していただき直接申し込み等を行ってください。

🔍 県教育委員会ホームページ +



🔍 文部科学省ホームページ +



まぶい窓おしの庭

No.72

学ぶということ

瀬戸内町立伊子茂小・中学校 校長
福元 親視 (前中沖小学校 教頭)

先日、某アイドルが農業体験を行う番組を見ました。ペットボトルを吊り下げて、大根を育てる企画でした。ちゃんと育つのかなという思いで見えていました。結果は、見事に成長していました。栽培方法も至って簡単です。目からうろこ。ペットボトルでも大根が育つ、しかも、吊り下げられるので、場所をとらない。「おもしろいな。」「よく思いつくな。」と、感心するとともに感動しました。

学びは、学校にいるときだけの行いではありません。私たちの身の回りのすべてから学ぶことができます。子どもの頃、思い起こせばたくさんありませんか。登下校中、道端にある草花や虫などの生き物を見つけたり、雨の日は、傘の向きや角度を考えたり、反対に水たまりに足を突っ込んで、水がはじけ飛ぶことを楽しんだり、学校の行き帰りだけでもたくさんあったことと思います。

私の実家の前の道路は、ちょうど東西に走っていました。朝、家を出て東に向かって歩きます。朝日を浴

びながら登校するので、いつもまぶしいなと思っていました。毎日通ううちに、太陽の昇る位置が北にずれたり南にずれたり、時期によって違うことを、経験からくる知識として持っていました。満月に映るクレーターを見て、「アメリカって、遠い国だね。」と親に話していたということもあつたらしいですが…。

現在、大人になって歩くことがなくなってきていますが、学びは、いろいろな場所にあります。これまで、たくさんの本を読みました。新聞も毎日見えています。「1円玉を新しく作るのに3円かかる」、「ティッシュの消費量は日本が世界一」は、学校の図書館の本を読んで知りました。

私たちは、一生学び続けるものです。今、子どもたちにたくさんの体験をさせてください。特別なことではなく、日常的なあいさつや片付けなど、やることをしっかりと身につけさせてください。それが多くの学びにつながります。そして、いつまでも学びに感動する人になってほしいと思います。